

水泳の心得

南国では水泳のとき、次のことに注意するよう、呼びかけています。

▽体の悪い人や弱っている人は泳いではいけません。

▽知らないところや増水のときも泳がないように。

▽水に入る前、必ず準備運動をして、全身を二、三回水にひたしておく。

▽なるべくおとなしく泳ぐようにし、おとなの目の届くところで泳ぐようにし、一人泳ぎは絶対やめること。

▽顔や唇の色が変つたらすぐ岸へ上がって休まなくはいけません。

▽泳ぐには行ききの時間の二倍以上かかることを知っておき、むりをしてはいけません。

▽水中にふざけて「助けられ」などと、いつてはならない。

▽海水から上がったときは清水でよく体を洗い、水気をよくふきとる。

▽体のくさいが悪いときはあわてずに近くの人に助けを求めると。

▽おぼれる人をみかけたらすぐ人を呼び、サオヤナワを使って救うようにし、飛び込んで救うのは最後の手段にする。

夏を快適にすごしましょう

夏になると高温のため身心共にたるみたく不衛生な生活を送り勝ちとなります。次、次のことを参考に快適に暮らしましょう。

夏の栄養

気温が高くなると体から大量の水分が出るので非常に

夏になると高温のため身心共にたるみたく不衛生な生活を送り勝ちとなります。次、次のことを参考に快適に暮らしましょう。

夏の栄養

気温が高くなると体から大量の水分が出るので非常に

土器の破片出土

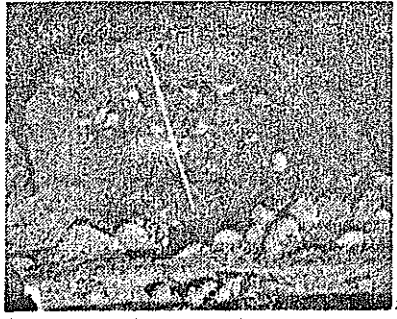
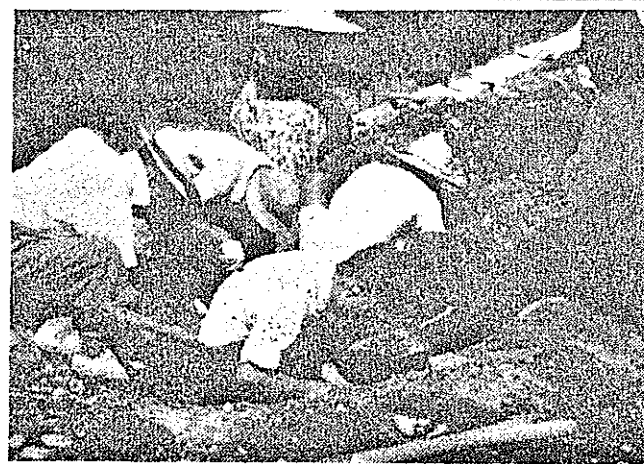
弥生期の遺跡を発掘

日章地区細工湖の弥生期の遺跡はさる二十八日、岡本健康文化財調査委を中心として高知大生、地元文化財研究会の人たち十余人で発掘された。

きつかけとなつたのはさきに市道拡張工事を始めた際道路になる水田の地表下約八〇センチのところから弥生期の土器の破片と、赤土の破片が無数に出、また黒焦げとなつた石や消し炭のようなものも発見された。

岡本氏は、同所はいつの時代にか掘り返され、土器も破片になつたのではないかと、となつたが弥生末期の土器の破片が無数に出、また黒焦げとなつた石や消し炭のようなものも発見された。

岡本氏は、同所はいつの時代にか掘り返され、土器も破片になつたのではないかと、となつたが弥生末期の土器の破片が無数に出、また黒焦げとなつた石や消し炭のようなものも発見された。



白木谷の洞を世に出す

観光熱が高まるにつれ、上谷地区白木谷にある洞窟を開発してはとの気運がみられ始めた。

この洞窟は龍河洞のようの中からも流れ出、付近

夏の踏切事故防止

五月分の踏切事故は、全国で二七七件で、前年に比べて、二五パーセントも増加しています。これが夏になると、次第に増加の傾向があります。夏になるとなせ踏切事故が増えて来ているのでせうか。それには次のようなことが考えられます。

▽国鉄の近代化で、列車の回数が増えて、速度が向上した。

▽ディーゼルカーが山走するようになつたので、従来の蒸気列車とちがって音を立てないで早く近づく。

▽夏は睡眠不足や疲れで注意力を欠き、一時停車を怠つて、ぼんやりしている。

▽夏は土間でも六月二十八日か煙の煙で、色も鮮やかな、ディーゼルカーが山走するように、列車と列車との間が非常に少なく、踏切の上には、いつも列車が走っている状態です。大事な点に注意して、大事な生命や財産を踏切事故から守りましょう。

踏切では一時停車を励行道路交通取締法では、踏切で一時停車して、汽車を確めるよう定められています。法律で定められていないが、身の安全のため一時停車を確実に励行しましょう。

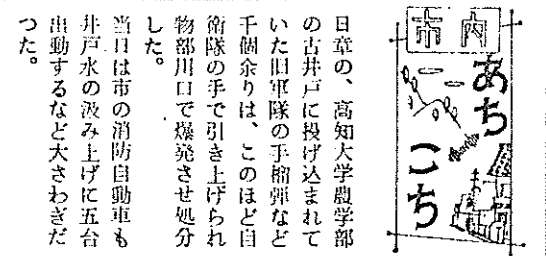
踏切は危険なところ。汽車といえは、大きな音を立てるものと思つて、音が近づくのがわかります。見送りの良い踏切でも、油断していると一瞬で生命を失います。

人も車も必ず一時停車左右を確認して注意して通る習慣を身につけましょう。

電気器具交換

四国電力立田地区電気婦人会は、使いあきた電気器具をむだにしないよう、適当な価格を専門家に買取ってもらう、交換する準備を進めている。

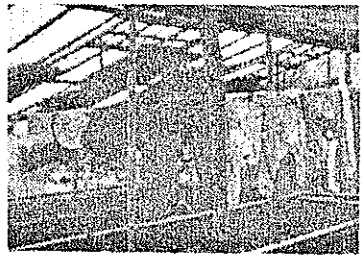
これは会員だけでなく一般にも利用できることになつて、利用できるところ品物を持つて相手を手すねていかなければならない。



当日は市の消防自動車も井戸水の汲み上げに五台出動するなど大さわぎだつた。

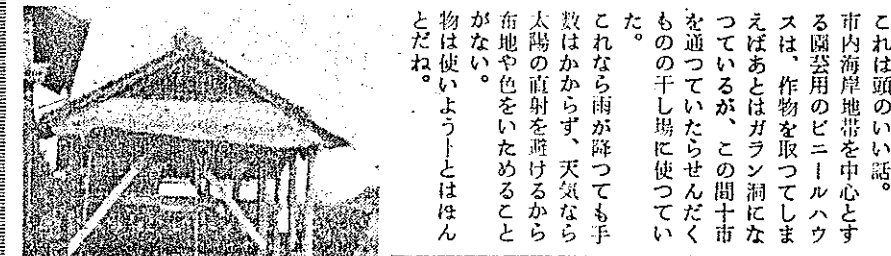
後免町の日吉神社は最近番小屋をつくり監視人をおいてさい銭ドロボウなどを防いでいる。

これまで同神社は下肥をまかれたりすることもあり、度重なるいたずらに氏子たちはこらえかねていた。



夏になるとともに市役所職員は事務に支障のない限り交替で毎日正午限りの半休をやつて、夏季休暇を名付けて、夏季休暇

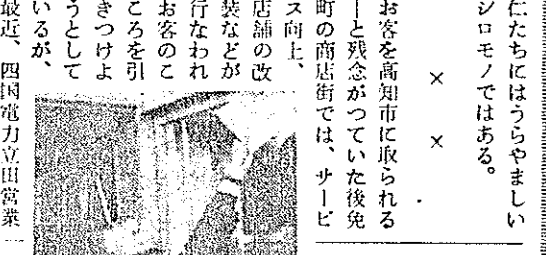
夏になるとともに市役所職員は事務に支障のない限り限り交替で毎日正午限りの半休をやつて、夏季休暇を名付けて、夏季休暇



これは頭のいい話。市内海岸地帯を中心とする園芸用のビニールハウスは、作物を取つてしまえばあとはガラソ洞になつていくが、この間十市を通つていたらせんだくもの干し場に使用していた。

これなら雨が降つても手数はかからず、天気なら太陽の直射を避けるから布地や色をいためることがない。

物は使えようとはほんただね。

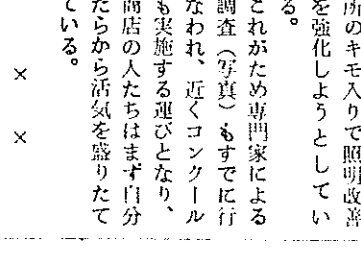


仁たちにはうらやましいシロモノではある。

お客を高知市に取られる一と残念がついては後免町の商店街では、サービ

一人、盗み、これを二人の男に売りつけ、二人はそれを

分けて引上げてきたが、警察では全部の車をみつけて引上げてきたが、たしかな証に不足するため、また全部を分解して同じ会社の部品で初めのおり組み立てた。



市教委がさきに大蔵公民館に開設した、高知文学学校分校。

それこそ、珠玉の講師をそろえているが「ちと程度が高すぎはしないか」とカゲの声。

というのは、各分野の初歩的なものを多くしてはしいとの意味にとれる。文学はこの泉であり、こころの糧(かて)であるといつても一部の人の



とこでそのトリ小原はバラック住立てまたはそれ以下が定石とみられるが、ここの章にあるものはまさにキングクラス。

写真のようにどつしりした本建築でカラワにした本格的な日本カラワ。住宅難にあえぐ

古くから開けた同府地区は紀伊之邸跡、同分寺、比江城跡など南国市切つての古跡のメッカだが、最近地元の史跡保存会はこれらの地に美しい標柱

を建設し保存と人々の便利を図つていく。

写真は同府小学校のわきに建てられた案内図で、人目を引くように極彩色。

寄稿について

広報の必要が認識されて寄稿が多くなつてよろこんでいますが一回では掲載しきれないほど長いものが多く悩んでいます。

長いものは紙面効果もあらわれないと共に、読むものも根気がいるので避けることになり、せつかく書かれたものも意欲がうすくなるので、この点おふくみいただき、お願いいたします。

(広報委員会)